2010年12月28日　八重山毎日新聞

県小学生派遣事業がスタート

本島児童が離島生活体験

西表に壺屋小、交流活動へ

県小学生離島体験学習促進事業に伴い、那覇市立壺屋小学校5、6年生児童34人が26―28日の日程で西表島で体験学習を行っている。子どもたちが到着した26日午前、石垣空港では竹富町観光マスコットキャラクター「ピカリャー」が子どもたちを出迎えた。

同事業は離島の魅力や重要性、特殊性などのメリット・デメリットについて認識を深めてもらうとともに、本島・離島間の交流促進を図り、地域活性化につなげていくことが目的。

石垣空港での歓迎は日本トランスオーシャン航空（JTA）が竹富町観光協会の協力を得て実施したもので、子どもたちは突然の出迎えに驚いた様子で「ピカリャー」に触れ、記念撮影するなど楽しんでいた。

同校児童らは期間中、西表島に滞在し、カヌー体験や宇多良炭鉱跡の見学、キビ刈り体験などを通して自然体験・歴史平和体験学習を行うとともに、地元小中学校交流会なども行われる。

本年度の同事業は試験的な実施で那覇市内の小学校3校が伊是名や宮古島などでも交流を行っており、来年度以降は規模を拡大し、沖縄本島から約720人の児童が県内各離島へ派遣される予定。

壺屋小学校児童らを出迎える竹富町観光マスコットキャラクター「ピカリャー」＝26日午前、石垣空港